

## ケース研修（例）

## (1) 研修の形態を決める

- ①研修の場＝職員会議、学年部会、研修会、回覧板（グループウェア）等
- ②参加者＝隣の人と、小集団や集まれる人で、全員で 等

## (2) ケースの提示

新任3年目の高等学校教諭Aは、2年生を担当し、教科指導、部活動ともに熱心で、誰にでも優しく、ていねいな指導に定評があり、生徒にも人気があった。

ある日の放課後、A教諭が一人で理科準備室で翌日の授業の準備をしていたところ、担任していた女子生徒Bが落ち込んだ様子で相談にきた。Bは進路や友人関係の悩みを打ち明けた。A教諭は、優しく対応し、Bは元気を取り戻して帰っていった。

Bはその後、時折A教諭の準備室を訪ねてくるようになり、徐々に親密な関係になった2人は、休日に車で出かけ、ホテルで関係を持つようになった。

関係は数ヶ月続いたが、Bは次第に成績が下がるとともに精神状態が不安定となってきたため、母親が問いただすと、A教諭との関係を打ち明けた。

後日、保護者からの抗議が学校と教育委員会にあり、A教諭とBの不適切な関係が明らかになった。

## (3) 問題点を書き出す

## (4) 対策を書き出す

## (5) 共有する

## (6) 確認する

- ◇思春期の発達段階では、教職員を恋愛の対象と見てしまうことがある。児童生徒と親しくなっても、教員としての一定の距離を保たなければならない。
- ◇児童生徒と一対一で、密室や周囲から見えにくい場所における指導はしない。指導の際は、複数名で指導にあたる。
- ◇教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律違反
- ◇徳島県青少年健全育成条例違反
  - (14条) 何人も、青少年に対し、いん行又はわいせつ行為をしてはならない。
  - 【罰則】 2年以下の懲役又は100万円以下の罰金

## (7) ふり返りシートの記入（別紙）